

2013年3月期 第2四半期決算説明会



2012年11月26日

株式
会社 **朝日ラバー**

2013年3月期第2四半期決算説明資料 目次

I. 2013年3月期第2四半期決算実績

1. 連結第2四半期決算実績（前期比較）	2
2. 連結第2四半期決算実績（四半期会計期間比較）	3
3. 連結セグメント別実績（前期比較）	4
4. 主要製品実績－ASA COLOR LED、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品	5～7
5. 単体損益実績（前期比較）	8
6. 連結子会社の損益実績（前期比較）	9
7. 連結貸借対照表の状況	10

II. 2013年3月期決算見通し

1. 連結損益見通し（前期比較、セグメント別）	11
2. 連結損益見通し（前回予測比較）	12
3. 連結設備投資計画（前期比較）	13
4. 配当実績と計画	14

III. 中期経営計画

1. 概要	15
2. 事業計画	16
3. 海外戦略	17

IV. マイクロTAS事業

1. 事業展開	18
---------	----

I - 1. 連結決算実績

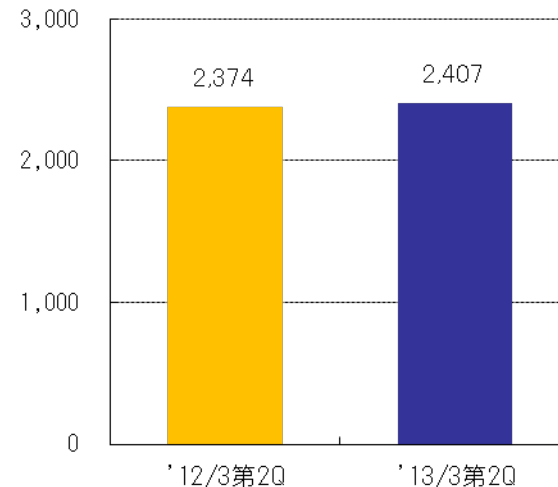
(単位:百万円、%)

	2012年3月期 第2四半期		2013年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	2,374	100.0	2,407	100.0	1.4
売上総利益	612	25.8	641	26.6	4.7
営業利益	58	2.5	88	3.7	50.1
経常利益	38	1.6	64	2.7	68.9
四半期純利益	14	0.6	40	1.7	171.0

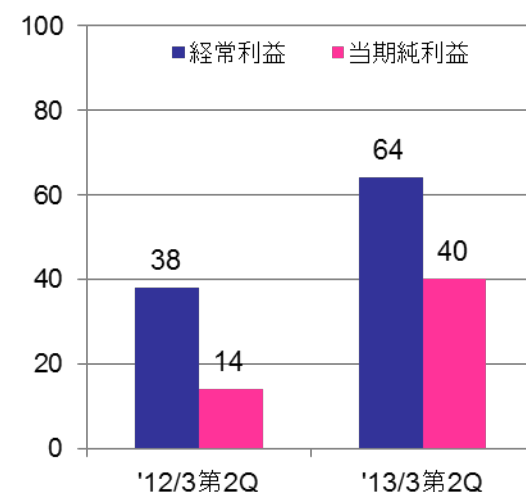
設備投資額 205百万円

減価償却費 175百万円

(単位:百万円) 連結売上高実績



(単位:百万円) 連結利益実績



I - 2. 連結第2四半期決算実績(会計期間)

(単位:百万円、%)

	第1四半期会計期間(4-6月)				第2四半期会計期間(7-9月)				
	2012年 3月期	2013年3月期			2012年 3月期	2013年3月期			
	実績	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	実績	構成比	前年同期 増減率	当第1四半期 増減率
売上高	1,137	1,218	100.0	7.2	1,236	1,188	100.0	▲3.9	▲2.5
売上総利益	292	322	26.4	10.3	320	319	26.8	▲0.3	▲0.9
営業利益	23	41	3.4	77.4	35	46	4.0	32.1	13.4
経常利益	10	24	2.0	138.4	27	40	3.4	43.8	66.7
前年同期比較	<p>自動車用ゴム製品の受注が、エコカー補助金の効果や新興国市場の需要増大により堅調に推移。</p> <p>スポーツ用ゴム製品と医療用ゴム製品は一部で顧客の在庫調整があり減少。</p> <p>また、海外子会社の黒字化で利益に貢献。</p>								
	<p>今期の第一四半期(4-6月)と同様に、自動車関連製品が好調だが、スポーツ用ゴム製品と一部の医療用製品の受注が減少。</p>								

I - 3. 連結セグメント別実績

(単位:百万円、%)

売上高	2012年3月期 第2四半期		2013年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
工業用ゴム事業	1,774	74.7	1,873	77.9	5.6
医療・衛生用ゴム事業	599	25.3	533	22.1	▲11.1
売上高合計	2,374	100.0	2,407	100.0	1.4

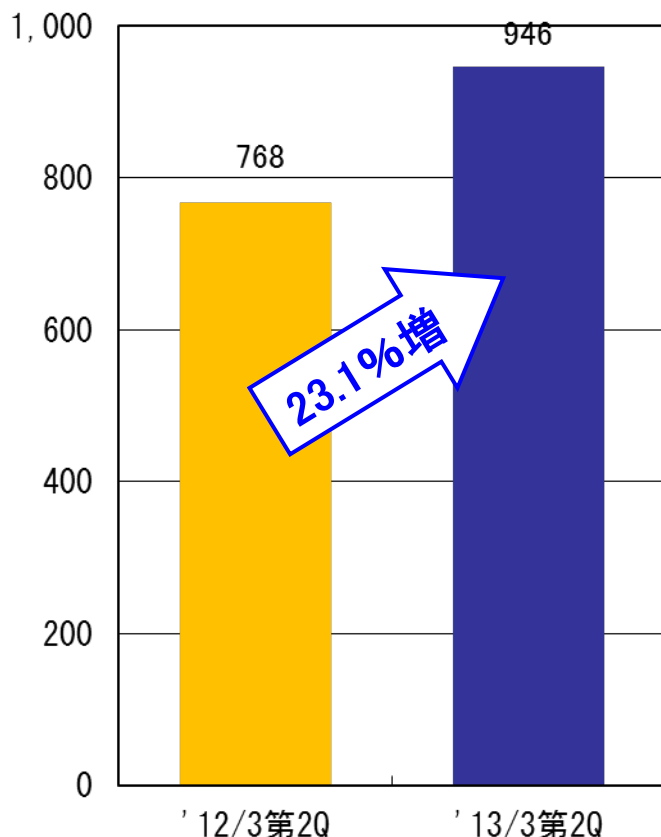
(単位:百万円、%)

セグメント利益	2012年3月期 第2四半期		2013年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
工業用ゴム事業	67	38.7	143	69.3	114.0
医療・衛生用ゴム事業	106	61.3	63	30.7	▲40.1
セグメント利益合計	173	100.0	207	100.0	19.5

- 工業用ゴム事業の自動車向けゴム製品の受注が増加し、利益に貢献する一方、医療用ゴム製品の受注が減少。

I-4. 主要製品実績—ASA COLOR LED

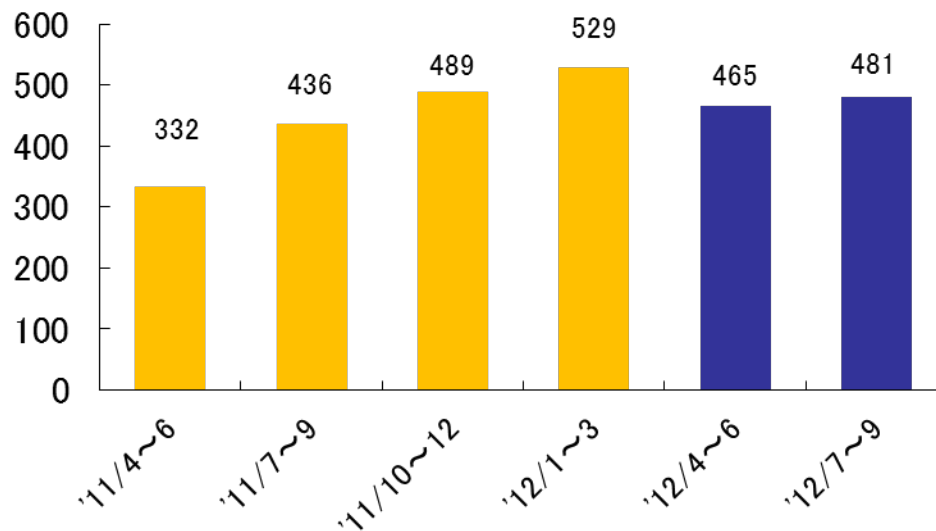
(単位:百万円) 連結売上高推移



ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

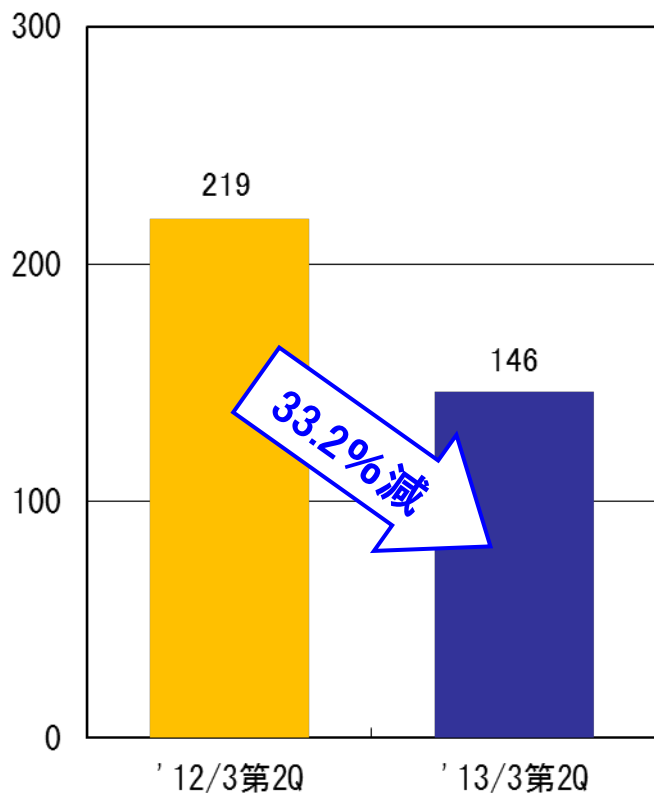
(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



- 米国や新興国など海外向けやエコカー補助金による国内需要が堅調で、自動車内装照明向けの受注が好調に推移。

I-4. 主要製品実績—スポーツ用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移



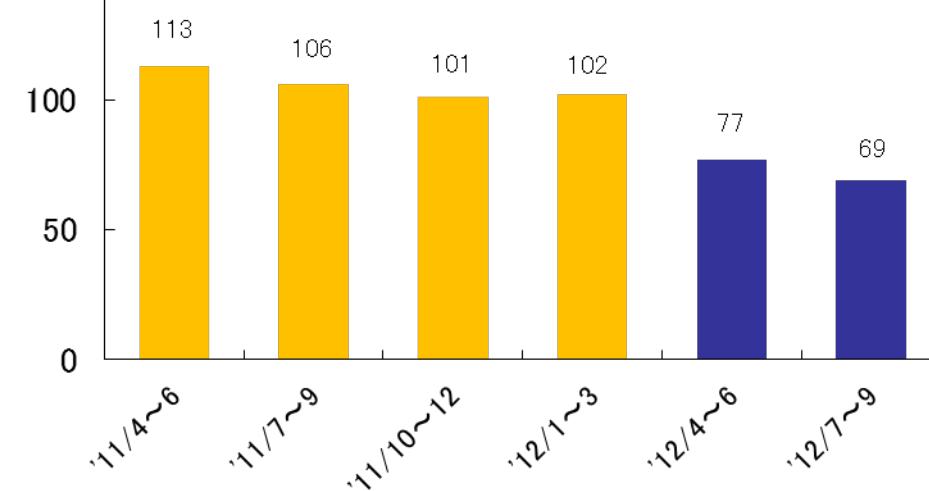
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



四半期会計期間の売上高推移

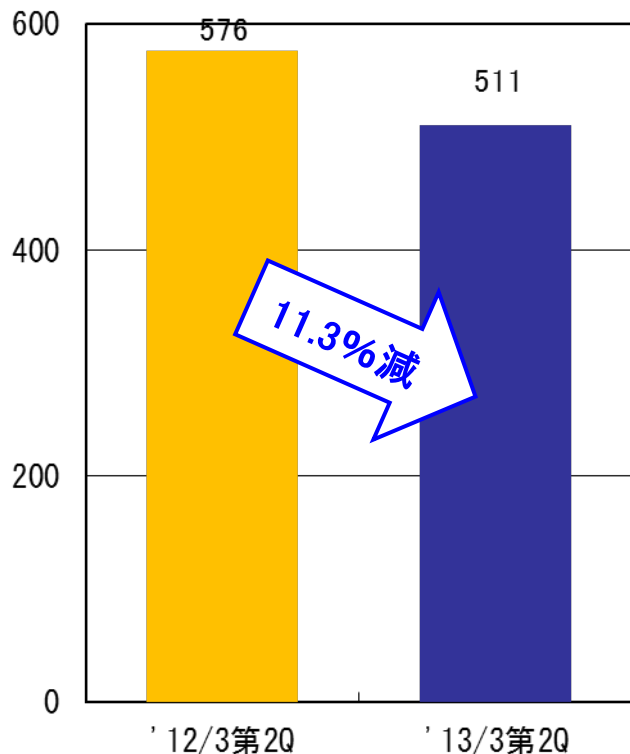
(単位:百万円)



●顧客の大幅な在庫調整と販売の低迷により受注が減少。

I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

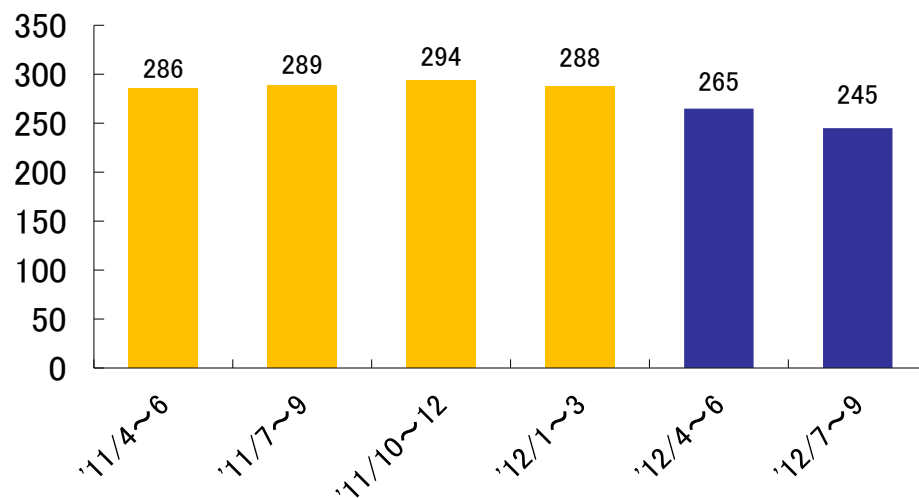


ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓、プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)向けガスケットなど、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



- 新規開発製品の受注は堅調に推移したものの、採血用・薬液混注用ゴム栓が顧客の在庫調整による影響で受注減。

I - 5. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2012年3月期 第2四半期		2013年3月期 第2四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率
売上高	2,330	100.0	2,347	100.0	0.7
売上総利益	600	25.8	572	24.4	▲4.6
営業利益	83	3.6	63	2.7	▲24.2
経常利益	66	2.9	44	1.9	▲34.0
四半期純利益	54	2.3	22	1.0	▲58.4

- 売上高は、医療用ゴム製品とスポーツ用ゴム製品の売上げが低調だったが、自動車向けゴム製品が好調で前年同期比微増。
- 比較的収益性の高い製品の売上げ減により、利益率が前年同期より悪化。

I-6. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日FR研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチック等に関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	48,026	前年同期 増減率	87,810	前年同期 増減率
		▲0.4%		0.6%
経常利益	5,507	▲34.9%	2,288	▲65.8%
四半期純利益	2,896	▲40.0%	1,730	▲55.6%

(単位：千円)

円換算レート：1米ドル79.77円

	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技(上海)有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発、設計、販売	
売上高	119,461	前年同期 増減率	135,031	前年同期 増減率	-	前年同期 増減率
		10.2%		108.8%		-
経常利益	7,325	-	6,052	-	▲637	-
四半期純利益	7,325	-	6,385	-	▲637	-

円換算レート：1香港ドル10.28円

円換算レート：1人民元12.64円

円換算レート：1人民元12.64円

I-7. 連結貸借対照表の状況

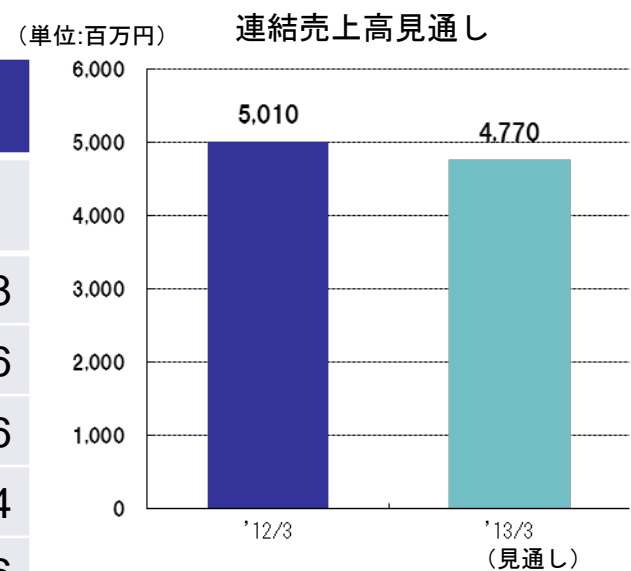
(単位:百万円)

	2012年 3月末残高	2012年 9月末残高	差	主な変動科目
流動資産	3,907	3,543	▲363	借入金返済に伴い現金及び預金が 337百万円減少
固定資産	3,839	3,856	16	
繰延資産	11	9	▲2	
資産合計	7,758	7,408	▲350	
流動負債	2,438	2,208	▲229	支払手形及び買掛金が45百万円減少 未払法人税等が115百万円減少
固定負債	2,459	2,319	▲140	長期借入金が163百万円減少
負債合計	4,897	4,527	▲370	
純資産合計	2,861	2,881	20	
負債純資産合計	7,758	7,408	▲350	

Ⅱ－1. 2013年3月期連結決算見通し(前期比)

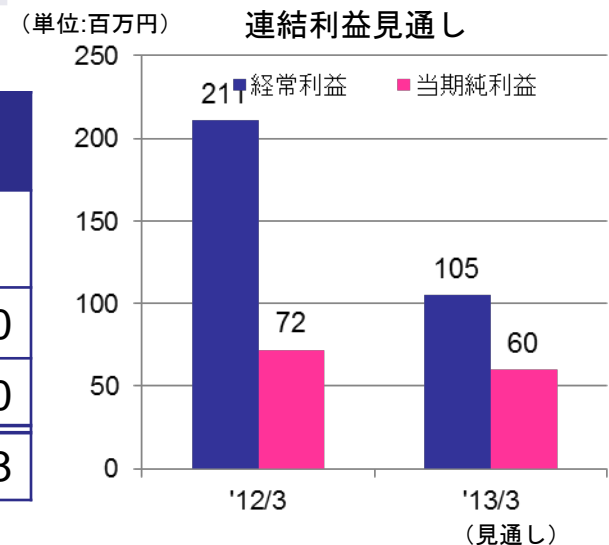
(単位:百万円、%)

	2012年3月期		2013年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	5,010	100.0	4,770	100.0	▲4.8
売上総利益	1,362	27.2	1,260	26.4	▲7.6
営業利益	243	4.9	147	3.1	▲39.6
経常利益	211	4.2	105	2.2	▲50.4
当期純利益	72	1.5	60	1.3	▲17.6



(単位:百万円、%)

セグメント別	2012年3月期		2013年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,812	76.1	3,775	79.1	▲1.0
医療・衛生用ゴム事業	1,198	23.9	995	20.9	▲17.0
売上高	5,010	100.0	4,770	100.0	▲4.8



Ⅱ－1. 2013年3月期連結決算見通し(前回予測比)

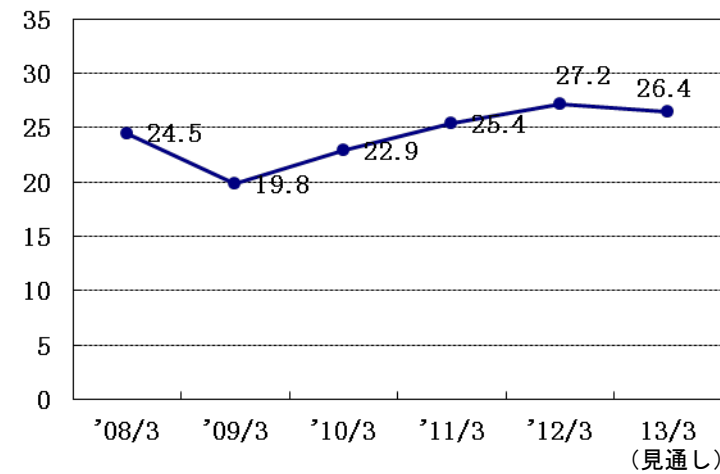
(単位:百万円、%)

	5/11時点		11/8時点修正		
	見通し	構成比	見通し	構成比	5/11時比較 増減率
売上高	5,200	100.0	4,770	100.0	▲8.3
売上総利益	1,471	28.3	1,260	26.4	▲14.3
営業利益	300	5.8	147	3.1	▲51.0
経常利益	240	4.6	105	2.2	▲56.3
当期純利益	135	2.6	60	1.3	▲55.6

●下方修正要因

- ①中国での不買運動の影響で、車載向けは第2四半期実績ほど期待できない。
- ②スポーツ用ゴム製品の受注減少
- ③医療用ゴム製品の受注減少

連結売上総利益率推移 (単位:%)



Ⅱ－3. 2013年3月期連結設備投資計画

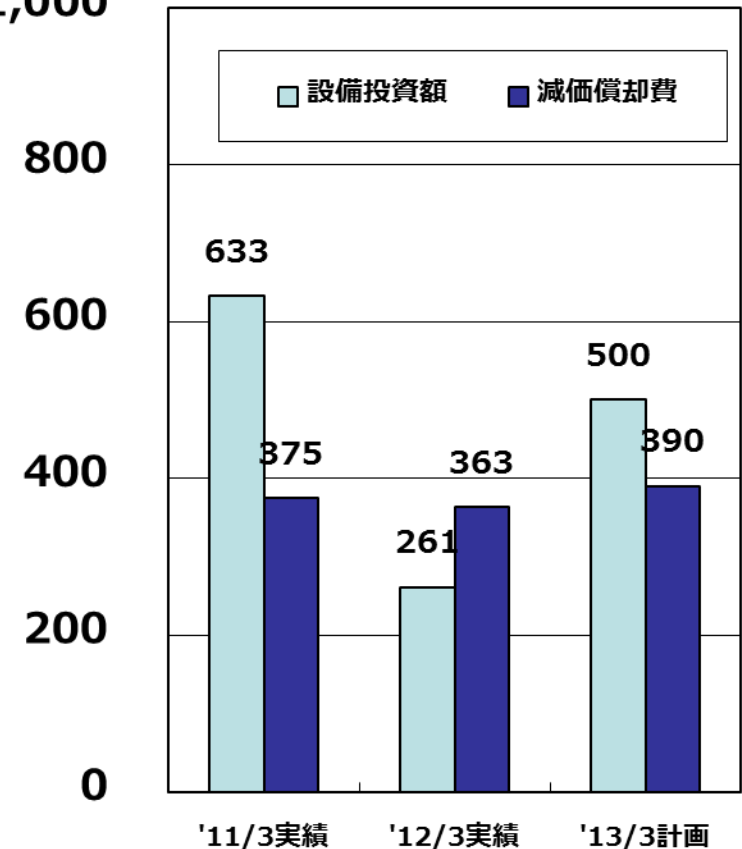
設備投資金額 約500百万円

減価償却費 390百万円

(単位:百万円)

1,000

事業分野別設備投資内訳(百万円)		
	第2四半期 実績	通期 計画
照明関連事業	20	75
医療関連事業	96	250
機能製品関連 事業	89	175

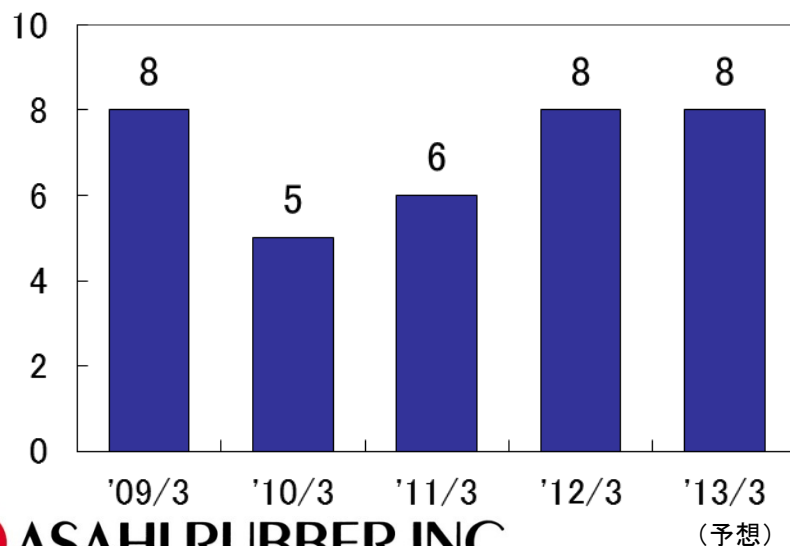


Ⅱ－4. 2013年3月期配当実績と計画

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
中間配当	3円	3円	3円(予想)
期末配当	3円	5円	5円(予想)
年間	6円	8円	8円(予想)

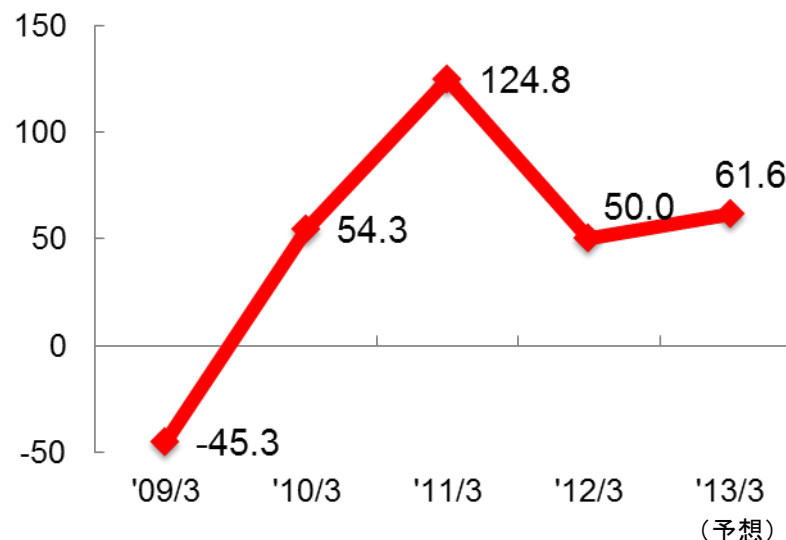
(単位:円)

一株当たり配当金推移

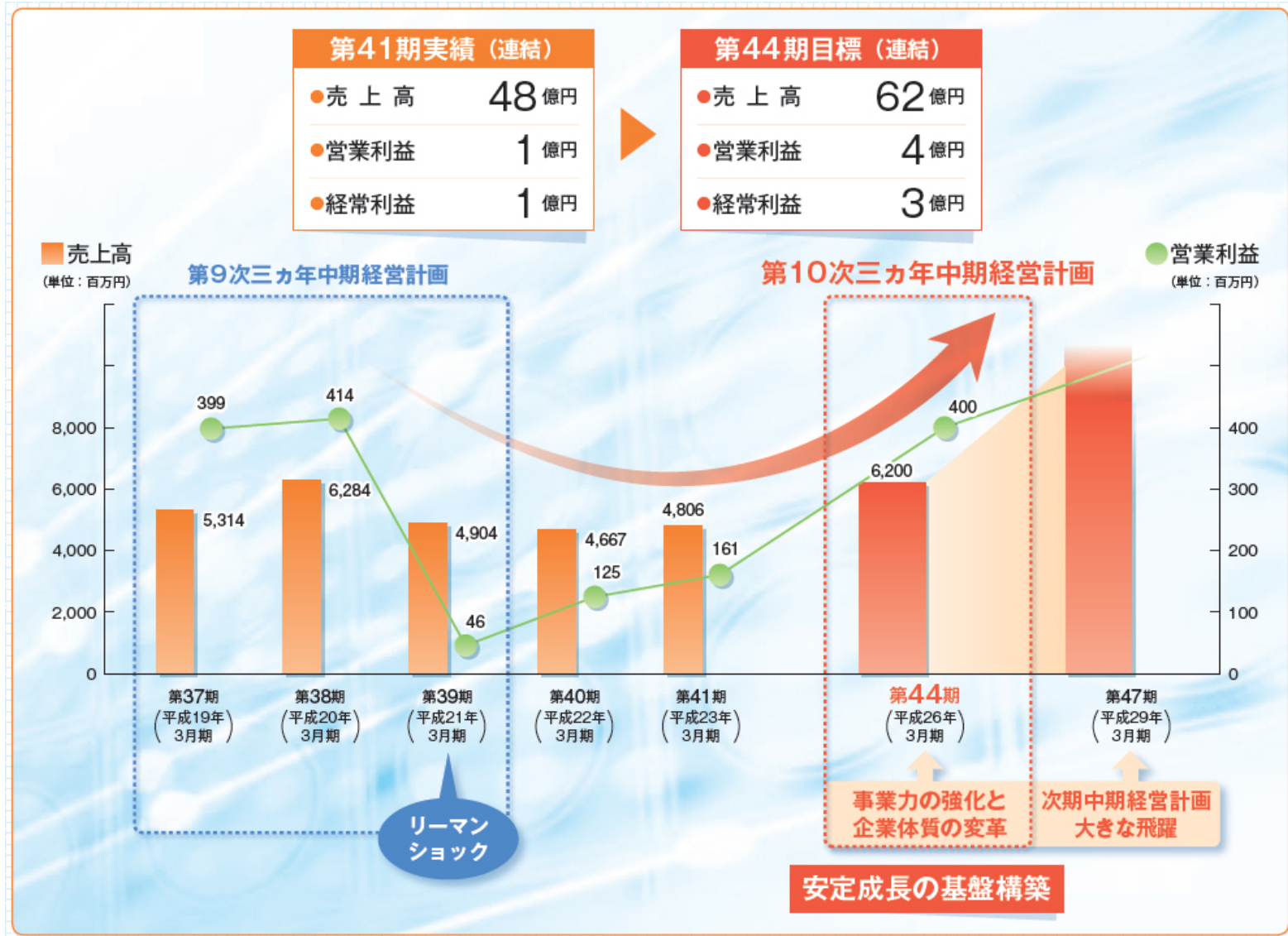


(単位:%)

連結配当性向推移



Ⅲ-1. 中期経営計画概要



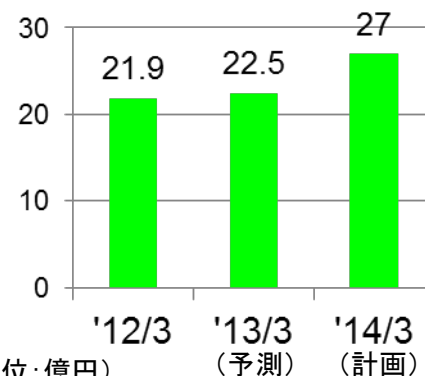
Ⅲ－２．中期経営計画－事業計画

照明関連事業 目標売上高27億円

レンズと蛍光体シートなどLED関連製品が計画から大幅に遅れている。

欧米の自動車メーカーへ展開。店舗照明、施設照明への拡販とレンズと白色レジスト材の販売を進める。

(単位:億円)

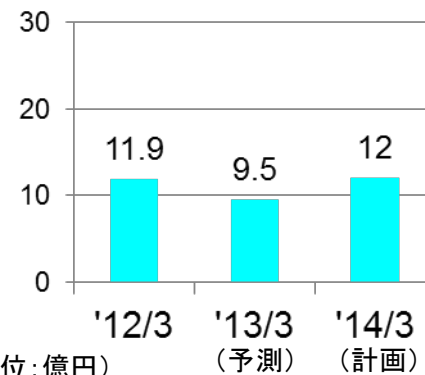


医療関連事業 目標売上高12億円

採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が減少。

ディスプレイ製品への拡販。今期設備投資の新規製品の量産をスタートさせ目標達成へ。

(単位:億円)

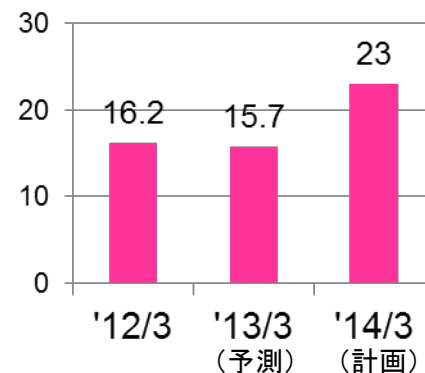


機能製品関連事業 目標売上高23億円

卓球ラケット用ラバーの受注が減少。

RFIDタグ向けの新製品の量産がスタート。ポテンシャルの高いマイクロTAS事業を前倒して進める。

(単位:億円)



Ⅲ－3. 中期経営計画－海外戦略

海外向け売上高比率を2014年3月期に20%まで高める

(2012年3月期海外売上高比率 9.1%)

2014年3月期売上高目標 12億円

ものづくり

法人名	市場地域	売上高
朝日ラバー(日本)	北米・欧州・アジア(中国含む)	7億円
東莞朝日精密橡膠製品(中国)	中国	5億円

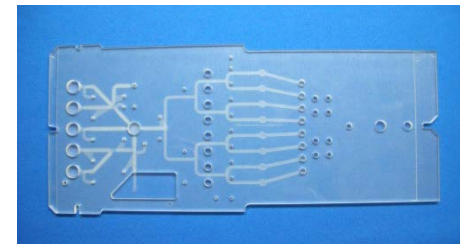
販売法人

法人名	市場地域	売上高	事業分野／主な市場
朝日ラバー(日本)	アジア(中国含む)	2億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場
ARI International(アメリカ)	北米・欧州	3億円	照明関連事業／自動車・照明市場
朝日橡膠香港(中国)	アジア(中国除く)	3億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場
東莞朝日精密橡膠製品(中国)	中国	2億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場
朝日科技上海(中国)	中国	2億円	照明関連事業／照明市場 機能製品関連事業／自動車市場

IV-1. マイクロTAS事業の展開

マイクロ流体チップ

基板に微細な幅と深さの流路を形成し、様々な化学的検体を流して試薬と反応や分析を行うチップで、化学・生化学分野において研究機関や実用現場で検出器具として使用されている。



当社のマイクロ流体チップの特長

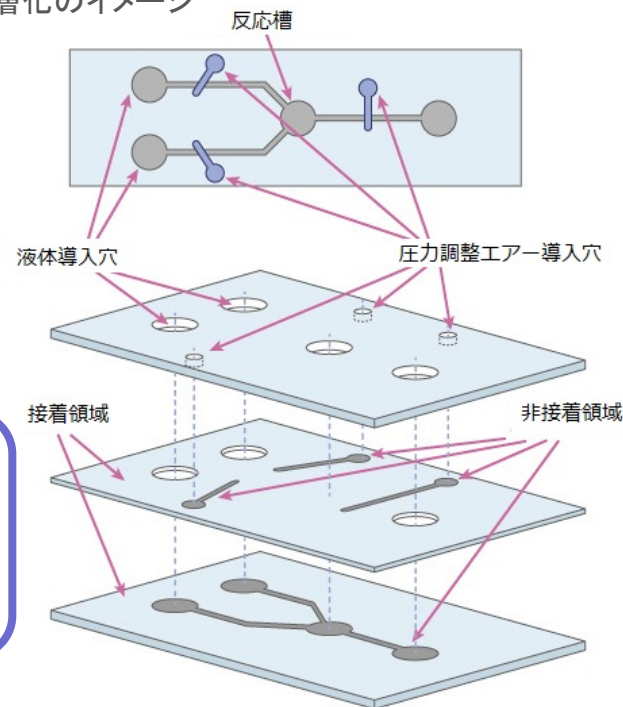
- ①ゴムの弾力性により安定した送液が可能
- ②積層化で流路を形成するため複雑な流路設計が可能
- ③独自の分子接着技術により耐久性・耐熱性・耐候性に優れた微細な流路形成が可能
- ④既存のチップに比べて安価でスピーディな試作と大量生産が可能

本格量産開始・・・2014年度から予定
参入市場・・・DNA解析、医療、生物学など

※マイクロTAS (Total Analysis System)

微細な加工技術を用いて、チップ上に微小な流路や反応室、混合室を設け、一つのチップもしくはデバイスで血液やDNAをはじめさまざまな液体や気体を分析する生化学分析デバイス。

積層化のイメージ



お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理統括部本社管理グループ
TEL 048-650-6056